



ステップ 3

# 学びを集結させる

第10回 日時 1月19日(金) 19時30分～21時00分 場所 市内コミュニティセンター

## 自分のまちのまち協への応用4

**魅**力的なスライドを作成するために、ナッジ理論やデザイン思考について学びながら、スライドの作成を進めます。地区ごとに相談しながら、手分けして作業をどんどん進めます。

- **解説**  
ナッジ理論とデザイン思考
- **ワーク**  
デザイン重視のスライド作成作業

第11回 日時 2月9日(金) 19時30分～21時00分 場所 市内コミュニティセンター

## 自分のまちのまち協への応用5

**ス**ライドの細部を磨き上げ完成させます。発表会前日のリハーサルに向けてグループの発表担当を決め、練習しながら最後のブラッシュアップをします。

- **ワーク**  
スライド完成と発表準備

第12回 日時 2月24日(土) 9時00分～11時30分 場所 高椋コミュニティセンター

## プレゼンテーション「学びの成果を分かち合う」

**第**7期の集大成です。一年間の学びをふりかえり、受講生がどのように変化したのかを学ぶとともに、各地区のプレゼンテーションを通して、これから歩むアクションプランを紹介します。会場からのエールや代表スピーチ、講評等により学びの成果をしめくります。

- **解説**  
全12回の成果(スライド、講義)
- **プレゼンテーション**  
地区別プレゼンテーション
- **メッセージ**  
会場からのエール、代表者スピーチ

キリトリ✂

キリトリ✂

第7期坂井市まちづくりカレッジ 申込用紙 応募締切：令和5年6月9日(金)

普段活動されている地域やまちづくり協議会、団体名	
氏名	電話番号
メールアドレス	住所

第7期のまちづくりカレッジでは、講義中の様子を動画撮影し、講義後のふりかえりと受講内容の確認のために受講生に配信しますので、ご了承願います。  同意します

# 坂井市 まちづくり カレッジ

WEB申し込みフォームから簡単にお申込みできます!



<https://logoform.jp/form/vZNt/248507>

「幸せ」が実感できる課題解決型のまちづくりを目指して

# 坂井市 まちづくり カレッジ

第7期 全12回講座  
2023年6月～2024年2月

受講生

募集中

応募締切 6月9日(金)



——今、課題解決の力を備えた地域が求められる時代に——



## 今期のまちカレは——

坂井市で暮らす「幸せ」をどのように実感していますか。「幸せ」は、与えてもらうのを待つのではなく、地域の様々な課題を住民主体で解決しながら自分たちで創造していくものと捉えます。持続可能な社会をめざして、様々な地域資源を最大限に引き出しながら、身近な人たちがつながり、支え合い、助け合える関係づくりを考えていきます。



## 童話 青い鳥とまちカレ

童話「青い鳥」でチルチルとミチルの兄妹は、魔法使いのおばあさんに頼まれて青い鳥を探しますが、どんなに遠くへ旅しても手に入れることはできませんでした。家に帰った二人は、飼っていた鳥が青い鳥だったことに気づきます。まちカレでは、外を見るよりも足元の地域をじっくりと掘り下げ、身近な「幸せの青い鳥」を探します。

**対象** まちづくり協議会及び地域ボランティア団体  
受講生50名程度(高校生以上)

**場所** 市内コミュニティセンター

**講師** アルマス・バイオコスモス研究所  
水上 聡子氏

## 講座のポイント

- well-being について学び、well-being の視点で地域課題を分析することで、地域課題を自分事として感じ取る感受性を磨きます
- 主観的・直観的認識から地域課題を捉えやすくするために、well-being の指標づくりを学びます
- 地域の課題を見つけやすくするために、ミステリー法(※1)とジグソー法(※2)により、坂井市の地域課題を体験型で包括的に学び、システム思考、戦略的、統合的問題解決能力を高めていきます
- 第6期生からカレッジでの学びを生かしたその後の取り組みを聞き、学びを行動へと具現化していく道筋を学びます
- まちカレ修了後に、自分の地区でプランを実現していく意識と実行力を持つリーダーとなるフロントランナーを育てます
- アクションプランの精度を上げながら、自分たちでスライドを完成させる実践型のカレッジです

※1 地域のよくあるミステリアスな困りごとがなぜ起きているのか、24枚のカードを使って坂井市の様々な問題を関連づけながら、楽しく謎解きします

※2 地域の安全安心や持続可能性に関するデータ類を読み解きながら、坂井市の課題や可能性を考え、ジグソーパズルをつくるように1つの未来像と実現のための方法を探ります

お申込み  
お問い合わせ先

坂井市役所生活環境部 市民協働課  
TEL : 0776-50-3017 FAX : 0776-66-2932  
Mail : machizukuri@city.fukui-sakai.lg.jp





ステップ 1

# 学びの基礎を築く

第1回 日時 6月17日(土) 9時30分～11時30分 場所 高棟コミュニティセンター

## well-being (ウェルビーイング) とはなにか？

**幸**せが実感できる課題解決型のまちづくりとは、どのような姿なのか。私たちが、地域でwell-being (ウェルビーイング) なあり方を実現するために、課題解決型のまちづくりがなぜ必要なのかを学びます。

### ■ 開講式

### ■ 解説

なぜ well-being が大切なのか？

### ■ ワーク

わたしと地域の well-being



第2回 日時 7月7日(金) 19時30分～21時00分 場所 市内コミュニティセンター

## 内発的動機づけはなぜ重要か？

**な**ぜ住民主体の地域づくりが重要なのか、それを進める上で内発的動機づけがなぜ必要なのか、どうすれば内発的に動機づけられるのか、そのために何ができるのかについて学びます。

### ■ 解説

なぜ内発的動機づけが大切なのか？

### ■ ワーク

わたしと地域の内発的動機づけ



第3回 日時 7月28日(金) 19時30分～21時00分 場所 市内コミュニティセンター

## well-being の指標をつくらう

**先**進国や先進自治体では、どのようなwell-being 指標をつくっているのか、私たちのまちで課題解決型の地域づくりを進めていくためにはどのような指標を用いればよいのか、アイデアを出し合いながら学びます。

### ■ 解説

課題解決型をめざす well-being 指標

### ■ ワーク

地域づくりの well-being 指標アイデア



ステップ 2

# 学びを発展させる

第4回 日時 8月18日(金) 19時30分～21時00分 場所 市内コミュニティセンター

## システム思考を身につけよう

**オ**リジナルのカード型教材「坂井市版地域づくりミステリー」を用いて謎解きをしながら、課題解決型地域づくりに不可欠な「システム思考」について学びます。

### ■ ワーク

坂井市版地域づくりミステリーの体験



第5回 日時 9月8日(金) 19時30分～21時00分

場所 市内コミュニティセンター

## 戦略的課題解決能力を高めよう

**ジ**グソー法を用いたオリジナル教材「坂井市版課題解決ワークショップ」を体験しながら、課題解決型地域づくりに不可欠な戦略性や統合的問題解決能力を学びます。

### ■ ワーク

坂井市版ジグソー法課題解決ワークショップの体験

第6回 日時 9月29日(金) 19時30分～21時00分

場所 市内コミュニティセンター

## 先進地区に学ぼう

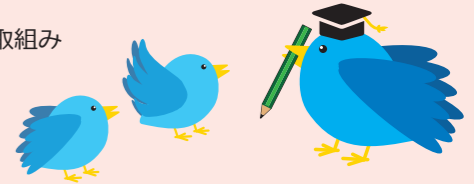
**ま**ちづくりカレッジでの学びがその後どのように地域に根差していったのか、第6期生の修了後の取り組みについて話を聞きながら、学びを行動へと具現化していく道筋について学びます。

### ■ 事例学習

第6期生のその後の取り組み

### ■ 質問ワーク

第6期生への質問



第7回 日時 10月27日(金) 19時30分～21時00分

場所 市内コミュニティセンター

## 自分のまちのまち協への応用 1

**い**よいよ第12回の発表会に向けて、自分の地区をベースとした道筋を組み立てていきます。まず、ダイヤモンドランキングを用いて地区の課題と可能性を整理する手法を学びます。

### ■ 解説

第12回プレゼントスライドのフレーム

### ■ ワーク

自分の地区の課題と可能性

第8回 日時 11月17日(金) 19時30分～21時00分

場所 市内コミュニティセンター

## 自分のまちのまち協への応用 2

**地**区の未来像とプランを考えていきます。自分の地区ではどのような課題解決をめざそうとするのかアクションプランを具体的にしていきます。そして、スライド作成の準備に入っていきます。

### ■ 解説

地区の未来像とプランの設定

### ■ ワーク

自分の地区の未来像とプラン

第9回 日時 12月15日(金) 19時30分～21時00分

場所 市内コミュニティセンター

## 自分のまちのまち協への応用 3

**第**8回で考えたアクションプランによって何を解決しようとするのか、実現のために乗り越えるべき課題は何か、内発的に動機づけられるか等についてチェックします。

### ■ 解説

アクションプランの精度を上げる

### ■ ワーク

アクションプランのブラッシュアップ

